

芸北地域振興協議会だより

第6号

発行日：令和4年3月16日

発行者：芸北地域振興協議会

要望書の提出



令和3年11月26日(金)北広島町長に、芸北地域の要望書を提出しました。

各地域から出していただいた要望事項を、芸北地域振興協議会で精査、取りまとめを行い小笠原会長から箕野町長に手渡されました。



令和3年度の要望事項と回答(概要)

【要望】河川の浚渫について

〔回答〕柴木川、大佐川、滝山川、丁川の堆積土除去は計画されている。気象状況等による堆積土の変化により実施時期箇所等の変更があることは承知いただきたい。越水場所の堤防の嵩上げは県へ要望していく。

【要望】荒神地内俵原川の氾濫防止対策について

〔回答〕令和3年8月の豪雨時にも浸水している状況もあり、対応策を検討していく。

【要望】国道・県道の歩道等早期改良(整備)について

- ・主要地方道 安佐豊平芸北線(増田石油～椎谷峠及び移原～枕)
- ・県道八幡雲耕線、県道溝口加計線

〔回答〕国道186号線(川小田・細見区間)の歩道整備は実施していく。街灯未整備区間は地域での防犯灯設置を検討していただきたい。

〔回答〕安佐豊平芸北線他、その他の要望県道路線については、道路整備計画に位置づけがされていない。全町的に精査し要望路線の優先順位をつけ可能な限り対応していく。草刈りについては、通常年1回であるが、通学路としての利用実態と影響度に応じて2度刈りを県へ要望していく。

県道八幡雲耕線の速度規制については、県と山県警察署に内容を伝えている。

【要望】町道等の早期改良について

- ・町道溝口大朝線(未改良区間)
- ・林道 細見大塚線

[回答] 溝口大朝線:2年前に地元を対象に説明をしたとおり改良の予定はない。

林道 細見大塚線:早期全線開通を目指していく。維持管理は地元の協力をお願いしたい。

農道舗装整備は、県の事業採択条件が厳格化しており実施困難である。国の多面的機能支払交付金制度の「施設の長寿命化」の活用を検討されてはいかかがか。

山道整備への支援については、森林環境贈与税を活用した維持管理の制度はない。

【要望】旧雲月小学校及び旧雲月小学校校長住宅の早期解体について

[回答]除去予定建物であるが、具体的な解体時期の回答が難しい。

【要望】教職員住宅の活用について

[回答] 現在活用に向けて組織内で整理している状況。早期に調整する予定。

【要望】芸北 高原の自然館前の公衆トイレの改修整備について

[回答] 県が所有する臥竜山麓八幡原公園内に属する県の施設であり、町は管理を受託している。施設の老朽化に加え、構造上冬期間の使用を見込んでいないため冬期間は閉鎖している状況。改修については引き続き県に要望を行っていく。隣接する自然館の利活用も含め利便性の向上を検討していく。

【要望】雄鹿原ふれあい広場の仮設トイレ及び手洗い場の設置について

[回答] 施設管理の経過及び現在の利用状況、利活用の計画等を踏まえ検討していく。

【要望】元つくし保育園の有効活用について

[回答] 保育園として建設されているので児童関連施設として利用されることが望ましいが、利用が見込まれない場合、芸北地域の活性化に寄与する有効な活用を地域に諮りながら考えていく。

【要望】(仮称)地域センターの建設について

[回答]町内の多くの施設が老朽化していることを踏まえ、建物健全度調査を行い現状把握に努めている。施設の規模や機能を見直し、必要に応じて集約化し、実情に沿った施設の設置を検討していく。

【要望】周辺部と中心部の調和をとる施策について

[回答]第2期長期総合計画を策定して各種施策を展開している。

[回答]地域協議会を中心に、地域の自主性を尊重し、連携を図りながら進めていく。重要な会議は地域ごとの開催に努めている。ホームページや広報誌、自主放送番組などの有効活用に努めていく。また、町民向けのオンライン会議やweb会議セミナーなどは、効果や課題、可能性について研究していく。

【要望】JA 広島市雄鹿原・美和店舗の廃止に伴う住民支援について

[回答]バスの利用者は年々減少し町の負担は増加している。生活交通を維持していくためには、町民みんなで支えることが必要であり、バス利用者の皆さんに負担をお願いしなければならないと考えている。

[回答]民間事業者が行った調査によると、芸北地域内の戸配の多くが大手ネット通販事業者からのものであり、ネット通販の広がりを実感している。北広島町 FTTH 化事業整備後は、格段にインターネット通信速度が速くなり、ネット通販環境の向上にも期待をしている。今後も、光高速通信網を活用した課題解決策を研究していく。

【要望】子育て支援、定住支援の充実について

[回答]人口減少は全町どの地域にも共通する課題であり、定住促進対策として補助金や奨励金を交付している。定住を希望される方の就労の場の確保(情報発信)や定住相談窓口の充実を図り定住促進に

努める。

【要望】看板標記の統一について

〔回答〕平成 27 年 3 月に策定された北広島町サイン整備実施計画で整備方針を定めており、計画の推進は事案ごとに整備指針に準拠し進めている。今後、経路案内看板について整備計画があれば県へ依頼していく。

【要望】お昼と夕方のチャイムの再開について

〔回答〕お昼、夕方等のチャイムは、防災行政無線廃止と同時に廃止したものであり、電波法の関係から再開はしない。屋外拡声器及び支柱の譲渡は可能と考えるが、老朽化していることから管理運営方法、経費の負担など地元で十分協議していただきたい。

【要望】インターネットに対応できない世代への支援について

〔回答〕コロナ禍の影響によりインターネットを活用した生活やサービスの拡大が急速に進んでいる。本町でも光高速通信網の構築に努めている。一方で、活用が難しい又は苦手な方についての支援も重要と考えている。現在、スマホ教室を町内各所で開催しているが、今後も更に拡大し、習得いただける環境づくりに取り組んでいく。

【要望】芸北道場への事業補助の継続支援について

〔回答〕補助金の必要性や事業内容等を精査し、適正な補助金の支出を進めていく。

【要望】芸北運動公園へのトレーニングジムの設置について

〔回答〕トレーニングマシンの整備については、活用可能で有利な補助事業等があれば活用し整備を検討していく。

【要望】有害鳥獣の被害対策について

〔回答〕有害獣の出没と農作物等への被害は捕獲の増加とは相反して減少していない状況である。引き続き、捕獲・防御・環境整備の3つの対策に取り組んでいく。各地域での研修会や、学び塾での免許取得講習会の開催、箱わなの貸付事業など実施しているので、地域ぐるみで取り組んでいただきたい。

※ 要望、回答については概要をまとめて掲載しています。

令和3年度 各部会活動報告

総務部会活動報告

総務部会長 成瀬 哲彦

総務部会では、本年度も各振興協議会からの要望の集約を行い、北広島町長に提出し、上記のとおり回答をいただきました。

未来会議は新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続開催することができませんでしたが、来年度開催に向けて検討を始めています。

協議会だよりは12月に第5号、3月に第6号を発行しました。来年度も内容を工夫しながら皆様に様々な情報をお届けしたいと思います。

事業部会活動報告

事業部会長 鉾口 雅之

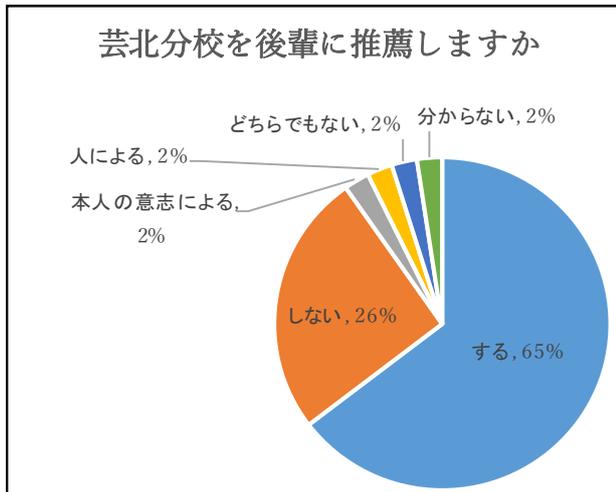
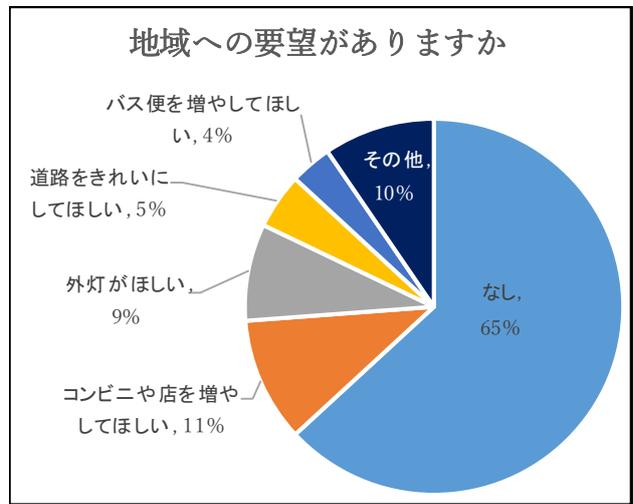
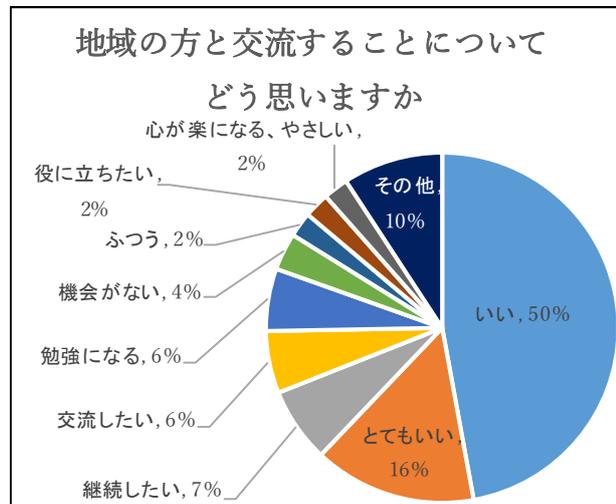
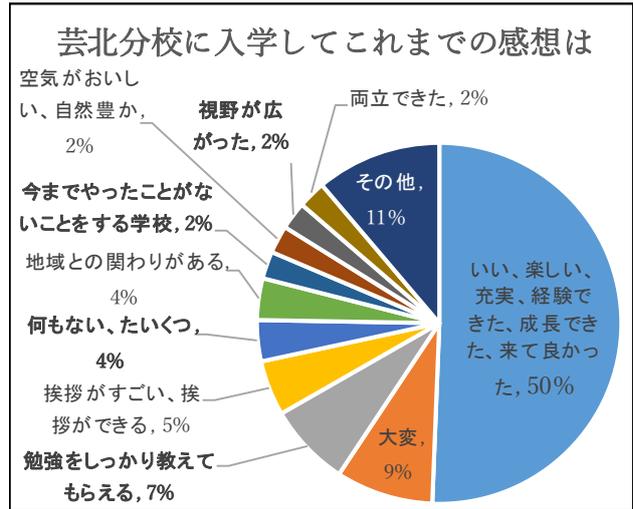
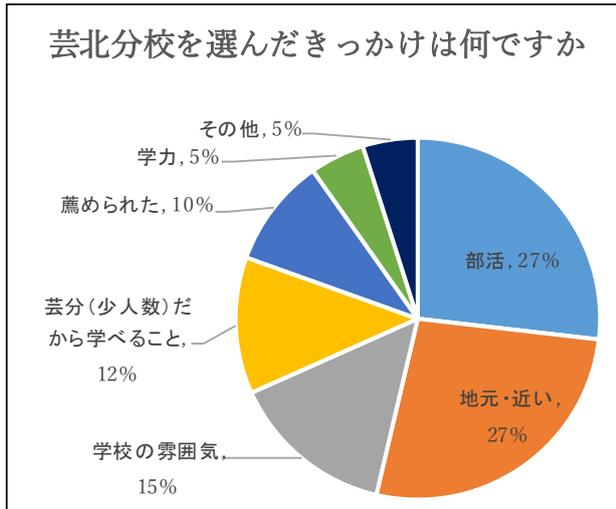
事業部会では、ステージイベントのみとなりましたが、2年ぶりに芸北高原秋まつりを開催しました。開催にあたり賛否両論ありましたが、コロナ禍でクラブ活動の発表の場が失われた高校生に、発表の場を提供しようと開催しました。コロナ禍での開催ということで、消毒の徹底・席数を減らすなど、コロナ対策に配慮しての開催となりました。

来年度は、コロナが収束し地域の皆様と芸北高原秋まつりを開催できればと思っています。

加計高等学校芸北分校生徒へのアンケート実施について

今年度、芸北地域振興協議会では、加計高等学校芸北分校の生徒にアンケート調査の協力をお願いしました。地域内唯一の高等学校である芸北分校の存続については、芸北地域の大きな問題であると考え、生徒数を維持していくために地域でもできることがあるのではないかとの思いからアンケートを実施しました。生徒たち全ての思いに応えることは難しいかもしれませんが、芸北分校の存続と芸北地域の活性化に繋がるきっかけになるよう、アンケート結果に真摯に向き合っていきたいと考えています。

芸北分校生徒 82名回答



その他、意見や質問があれば自由に書いて下さい。

1	アンケートによって気づきを与えていただきありがとうございます
2	道路をきれいにしてほしい
3	芸北に休憩できる憩いの場がほしい
4	田舎を活かした部活を取り入れてほしい 自然を活かせてない
5	地域の方々のサポートや見守りにより学校生活が送れていることに感謝している
6	交通の便が不便
7	コンビニがほしい
8	改めてこの学校と地域は繋がっていると思った